

ウェルウォーク通信

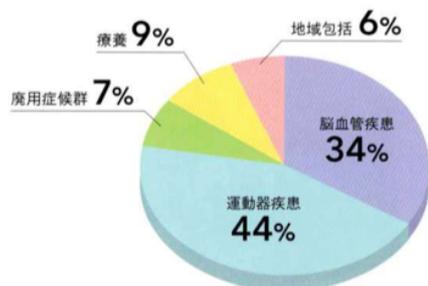
日頃はウェルウォークをご活用いただきまして誠にありがとうございます。

第4回目の今回は、高良台リハビリテーション病院様（福岡県）の取り組みをご紹介します。

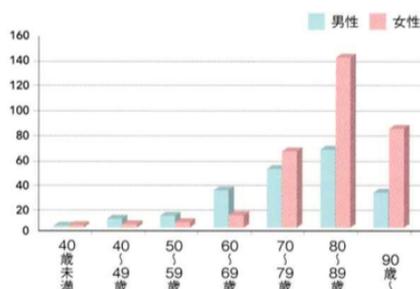
高良台リハビリテーション病院

高良台リハビリテーション病院様は、回復期100床を有し、入院患者の疾患内訳は整形外科疾患が44%と最も多く、**脳血管疾患は34%**です（2019年度）。入院患者は80歳以上の**高齢者が多い**のが特徴です。

■ 疾患内訳 (患者数=508名)



■ 性別・年齢別入院患者数 (患者数=508名)



ウェルウォーク症例検討会の様子

ウェルウォーク導入後からウェルウォーク適用患者の基準の見直しを続け、**独自の適用基準**を作成されました。ウェルウォーク適用患者の基準を設定するだけでなく、認知機能が低下した高齢者が多いという特徴に合わせて基準を見直したことがウェルウォークをより多くの患者様に使用して頂くことに繋がりました。適用患者が少なくお悩みの方は、ぜひ参考に見てみてください。

【ウェルウォーク適用基準】

2018年2月（導入）～	2019年4月～	2020年4月～
テント上初発脳卒中片麻痺患者 （くも膜下出血を除く） 20歳以上80歳未満 発症後60日以内 SIAS 下肢運動項目合計 ≤ 6 SIAS 体幹垂直性 ≥ 2 FIM 歩行 ≤ 3 FIM 理解 ≥ 2 FIM 記憶/社会的交流 FIM ≥ 3	脳血管疾患による片麻痺患者または片側下肢の支持が十分可能な不全脊髄損傷患者 FIM 歩行 < 5 HDS-R ≥ 21	脳血管疾患による片麻痺患者または片側下肢の支持が十分可能な不全脊髄損傷患者 FIM 歩行 ≤ 5 FIM 理解/表出 ≥ 2 FIM 記憶/社会的交流 ≥ 3
実施患者数 15名	実施患者数 25名	実施患者数 17名（9月時点）

【ウェルウォーク担当PT 橋岡匠平先生のお話】

当院では、通常担当PTとは別にウェルウォーク担当PTを決めて実施しています。ウェルウォーク練習は、週5日程度実施しており、患者の歩行能力改善や早期退院を図っています。導入当初は脳卒中片麻痺患者に限定していましたが、もっと多くの患者に適用できるのではないかと考え、翌年より不全の脊髄損傷患者も対象に加えました。また、ある程度の認知機能が保たれていることを基準としましたが、当院は高齢患者が多いため適用基準を満たす患者が少なく対象者の選定に難渋していました。そこで、今までのウェルウォーク実施患者のデータを基に適用基準の見直しを行い、認知機能面の基準を緩和しました。今年度より、新しい適用基準で運用していますが、前年度よりもウェルウォーク実施患者は増加見込みであり多くの患者にウェルウォークを用いたリハビリテーションを提供することができています。また、認知機能が低下している患者であっても対象者に合わせて難易度調整やFB機能を適切に実施することでウェルウォーク練習の効果を実感しています。